

IT人材確保の「最終手段」を「最良の選択へ」  
ベトナムオフショア開発サービス  
スマラボのご紹介



株式会社アイディーエス  
2026年4月

## **IDS** 株式会社アイディーエス（本社）

代表 : 中野 貴志  
設立 : 1996年12月  
所在 : 東京都港区（浜松町）  
社員数 : 89名  
売上高 : 45.2億円（2025年6月度）

事業内容 : システムインテグレーション  
AWS総合支援サービス  
オフショア開発支援サービス  
人材派遣サービス  
自社サービスの開発と運用



Vietnam  
Offshore  
Consortium



## **IDS** International Digital Services Vietnam co., Ltd (IDS Vietnam)

代表 : 柴田 達真  
設立 : 2017年2月  
所在 : ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市  
社員数 : 75名  
出資比率 : 100%  
事業内容 : 日本企業向けのオフショア開発サービス  
ベトナム国内向けAWSリセールサービス

## **SSV** System Sustainability Vietnam .,JSC (SSV)

代表 : Le Dinh Tung  
設立 : 2024年6月  
所在 : ベトナム社会主義共和国 タインホア省  
事業内容 : COBOL専門のオフショア開発サービス



## ● 年間5万人以上のIT卒業生

国を挙げたIT教育への注力により、若く学習意欲の高い優秀な層が豊富に存在します。

## ● 高い親和性と日本語学習者

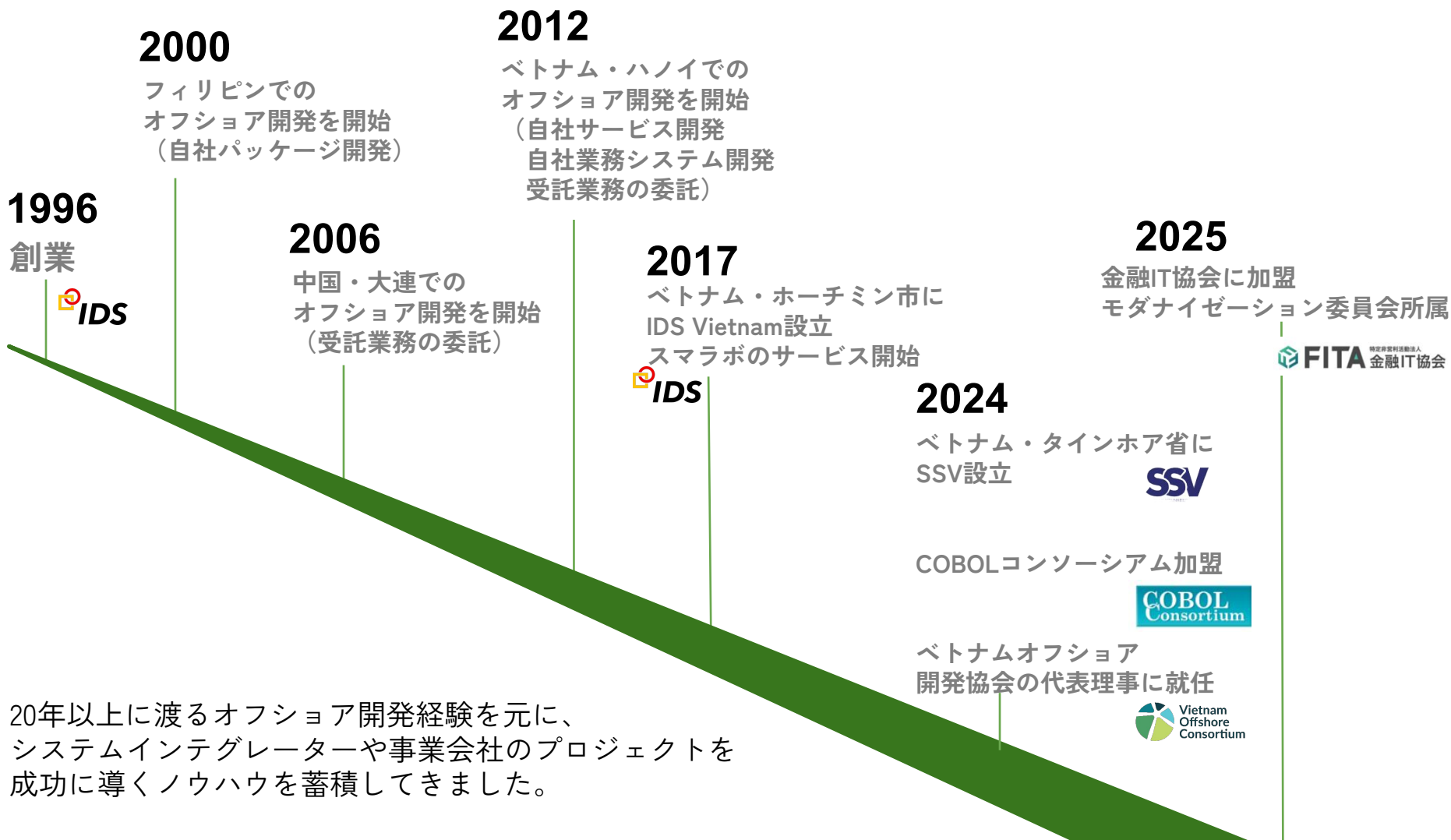
文化的にも日本への関心が高く、日本語を学ぶエンジニアも多くいる国です。

## ● ハイスピードな開発文化

活気に満ちた社会を背景に、スピード感を重視する開発文化が根づいています。



# 当社のオフショア開発サービス： スマラボについて



## 日本企業が、ベトナムエンジニアで内製チームを作り上げるためのサービス

オフショア活用の価値を、コスト削減に置く時代は終わりました。

「DX化が進まない」「リソース不足」「コストが高い」といったお悩みに声を傾け、お客様が長期に開発を継続することを前提に、丸投げでもなく、完全内製でもない、「第3の選択肢」を提供します。

- ラボ特化型** : 日本品質とベトナムコストの両立したチームを構築  
生産性向上をお客様のメリットとして享受頂きます
- AI・AWS活用** : 可能な限り最新のテクノロジーを活用し、品質・生産性・  
コミュニケーションの改善を実現します。
- プロジェクト運営支援** (オープン系)  
初めてのベトナムオフショア開発でも安心頂けるよう、プロジェクト  
運営のノウハウを持つプロジェクトコーディネーターが支援します。

# スマラボが提供するソリューション

## 起きがちな課題

- ラボ契約を結んだが、戦力化ができない
- 日本側のPM・エンジニアの負荷が増大
- 指示待ち・認識ズレによる手戻り
- 丸投げと過干渉の行き来
- 「人はいるが、チームにならない」

課題は「ベトナム側の能力不足」ではなく、運用・設計・期待値のズレ



日本企業がオフショアを使いこなすための  
運用・設計・文化調整レイヤー

## スマラボの解決方針

- オフショア前提の運用設計（期待値・役割・責任の明確化）
- 日越ハイブリッド体制によるプロジェクト伴走
- 指示粒度・コミュニケーションの標準化
- スモールスタート前提の改善設計
- 「開発」ではなく、「自社戦力化」をゴールに設定

中長期にオフショアチームと協働することを目指す



**スマラボは「単価最安」を目的にしません**

- 人件費の安さだけを軸にしたオフショア活用
- ジュニア人材を大量に並べる体制
- AIを使わずに工数を発生させるやり方



**スマラボは「完全丸投げ型」の開発はしません**

- 日本のお客様が関与しない体制
- 成果物だけを評価する関係
- お客様のビジネス上のゴール共有がされない



**スマラボは「スポット」の体制構築をしません**

- 数カ月で解散する前提の短期ラボ
- 引継ぎ・定着を考えないプロジェクト
- ノウハウが社内に残らない設計

スマラボは中長期的にお客様にとって最適なコストで、最高の「開発戦力」となるよう、生産性が高いAI開発を活用し、お客様のビジネス発展に貢献することを目指します。

## FinTech (自社サービス開発)

- 期間：1.5年～
- 体制：5～10名
- 技術：PHP、AI-DD、AI-OCR
  
- 成果：社内工数を削減しつつ、様々な新サービス開発を継続




## 物流・人材管理 システム

- 期間：4年～
- 体制：7名
- 技術：PHP、Mobile, Serverless
  
- 成果：外国人労働者管理・勤怠システムの長期安定運用

## 国際スポーツ大会 速報システム

- 期間：1年～
- 体制：8名
- 技術：PHP、RAG (生成AI PoC)
  
- 成果：基盤システムの構築と、機械学習PoC、RAG化

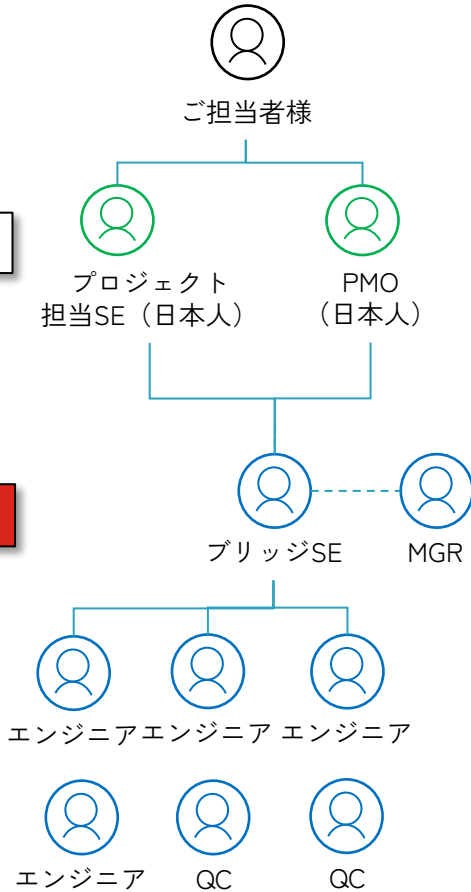
## クラウド、AI、最新フレームワークやAI駆動開発を駆使した高速開発

Web/ Mobile /Apps	Cloud /AI	Quality / Test
<ul style="list-style-type: none"> <li>● TypeScript, React, Next.js</li> <li>● PHP, Python</li> <li>● Java, C#</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AWS</li> <li>● GenAI(Bedrock)</li> <li>● Cursor (AI駆動開発)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Selenium</li> <li>● ISTQB Silver Partner</li> </ul> 

日本語能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>● N2以上：10名</li> <li>● N3以上：7名</li> </ul>

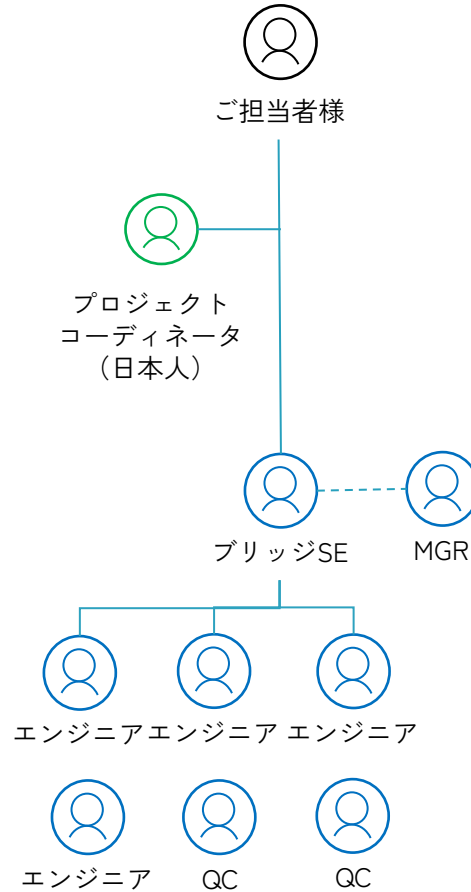
## ① 運営委託型

お客様側のオフショア運営工数を最小化する体制。品質・コミュニケーション工数重視型。



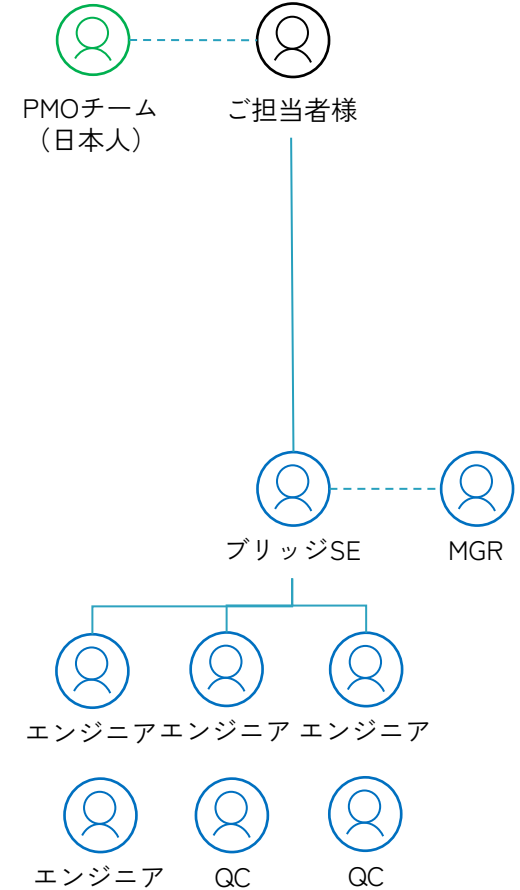
## ② オフショア活用型

お客様のオフショア運営を支援し、お客様にノウハウを蓄積。当社推奨体制。



## ③ 内製支援型

お客様によるオフショアチームの運営体制構築。コスト最小化。



※エンジニアやQCの人数についてはプロジェクトの規模によって変動します

お客様のオフショアケイパビリティや意向に応じ、当社PMO・プロジェクトコーディネーターによる支援範囲を決定した上で、最適なプロジェクト計画・管理手法にて運営いたします。

## プロジェクト計画

- ・プロジェクト工数の算出
- ・人員計画の策定
- ・アサイン計画の策定
- ・プロジェクトリスクの明確化
- ・インシデント発生時の計画策定
- ・サブプロジェクトの策定
- ・コミュニケーションルールの策定

## プロジェクト管理

- ・デイリーでの進捗予実管理
- ・課題・変更管理
- ・タスク管理
- ・フェーズ完了判断
- ・遅延予測、リカバリ
- ・空き稼働予測
- ・緊急インシデント発生時の増員

## レポートニング

- ・QA、進捗報告(デイリー)
- ・定期ミーティング(ウィークリー)
- ・稼働実績の報告(マンスリー)
- ・ステアリングコミッティー(四半期毎)

## お客様満足度確認

- ・CSインタビュー  
(プロジェクト単位/年単位)

# スマラボが提供するソリューション

- システム開発

- クラウドや生成AI等の最新技術を活用した高品質なシステム構築  
→ 業務システム、モバイルアプリ、AI活用システム

- デジタルプロダクト開発

- 自社サービス／自社プロダクトの企画・開発  
→ SaaS、IoT、デジタルマーケティング

- R&D、PoC支援

- 生成AIや機械学習（ML）によるDX検証

- 他社保守システムの引き取り

- 他社構築システムの保守引き取り

# COBOL特化型オフショア開発サービスについて



## 深刻なリソース不足



- エンジニアの高齢化：開発保守を支えてきた熟練層が定年退職を迎える「2025年の崖」を通過
- 若手不足：新卒や若手エンジニアは最新技術を志向し、COBOLは離職リスクに
- 属人化：ドキュメントが未整備なまま特定のベテランのみが仕様把握。退職と共にブラックボックス化

⚠ 「人材争奪戦が激化」  
(人的リスク)

## システムの硬直化



- ブラックボックス化：長年の修正・追加開発により構造が複雑化し、影響調査が困難。
- 最新技術との連携不足：クラウドやAI、DX推進において基幹データとのリアルタイム連携がボトルネックに
- 維持限界：メインフレームの保守終了

⚠ 「中身が誰にも分からなくなる」  
(技術的リスク)

## 戦略的な停滞



- 維持費の高騰：希少なCOBOLエンジニアの単価上昇がIT予算を圧迫
- ビジネス変化への遅れ：法改正や市場ニーズに合わせたシステム改修に時間がかかり競争優位性を失う
- マイグレーションには膨大なコストが発生し、前にも進めないジレンマ

⚠ 「維持だけで予算が消える」  
(経営的リスク)

01

**ベトナム唯一の  
COBOL特化型企业**

- ベトナム国内のニア  
ショア拠点としてタイ  
ホア省に特化型拠点を  
構築
- 人事制度/教育、キャ  
リアがCOBOL前提で  
モチベーション維持  
が可能

02

**安定的なリソース確保**

- Hong Duc大学と提携し  
(MOU)し、情報系学生を  
継続採用可能  
(奨学金/インターン)
- 日本国内/ベトナム国内に  
おける積極的な経験者  
(ベトナム人COBOLエン  
ジニア)採用

03

**お客様業務特化教育**

- COBOL言語のインター  
ン時代での教育実施
- 日本語COBOL、アセンブ  
ラなど、その他レガシー技  
術も教育
- シニア層知見のRAG化
- 日本国内パートナーとの  
連携(シニア人材、PM特  
化型会社)

# SSV本社所在地・タインホア省について

<b>面積</b>	11,132 km <sup>2</sup> (ベトナムで5番目)
<b>人口</b>	3,716,430人(2021年ベトナムで3番目)
<b>アクセス</b>	ハノイから高速道路で2.5時間、ホーチミンから飛行機で2時間弱
<b>GDP 成長率</b>	ベトナムで5位 (北中部地域の最高成長率)
<b>企業総数</b>	14,088社 (ソフトウェア会社: 約20社)
<b>提携大学</b>	Hong Duc大学 (設立1997年)。タインホア省で最もレベルが高い。



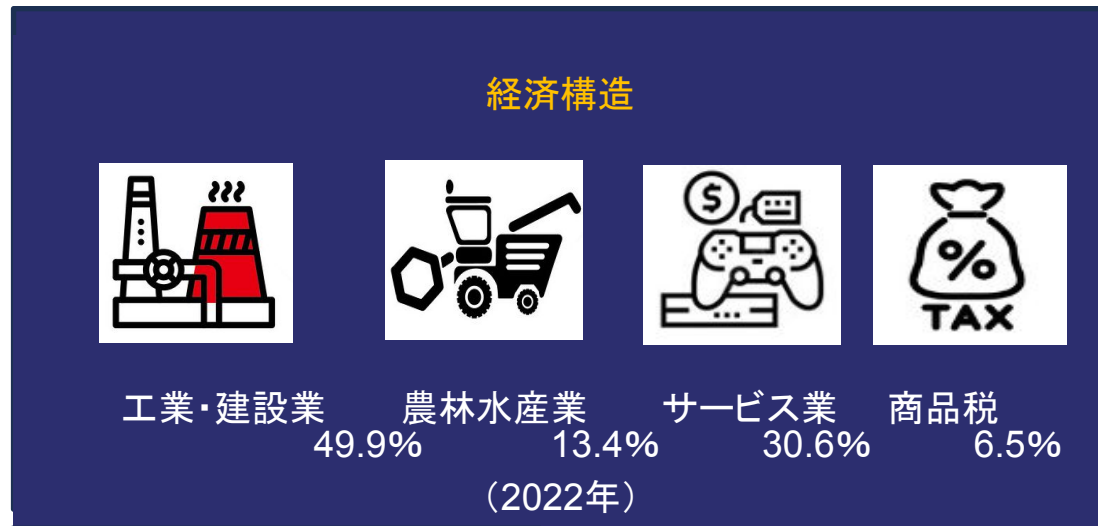
# SSV本社所在地・タインホア省について

**人口**  
376万人  
(2024年)

**労働者人口**  
250万人  
(2024年)

**経済成率  
(GRDP)**  
11.72%  
(2024年)

**一人当たりのGDP**  
3,360米ドル  
(2024年)



**FDI誘致**  
142件のプロジェクト  
144.16億米ドル  
(2023年4月まで)

**輸出額**  
6,293 百万ドル  
(2024年)

**鉄工業生産指数  
(HP)**  
(2024年)  
16.31%

**開発向けの投資調達資**  
1,389,190億ドル  
(2024年)

**企業数**  
17,000社  
(2023年4月まで)

※2024年タインホア省投資・貿易・観光振興センターの調査

ベトナムは新幹線が発達しておらず、また、高速道路以外は渋滞発生や悪路であることも多く、陸路や空路が整備されていることは都市の魅力を維持する上で重要である。タインホアはハノイとの高速、ホーチミンからの空路が確保されており、日本からの出張においても大きな支障は無い場所である。

## 陸路



国道1A号線、ホーチミン・トレイル、国道217号線、国道10号線、国道15号線、国道45号線、国道47号線、南北高速道路、コースタルロード等ルートを通る。

ハノイからは3時間弱で移動でき、ハノイ側からマネージメントを行うことも現実的である。

## トースアン空港



2030年には国際空港化が計画されている。ホーチミン市以外にも複数の都市との国内線がある。

ホーチミンからは2時間、空港へのアクセスも1時間程度であり、移動がしやすい場所にある。

# SSV本社所在地・タインホア省について: 豊富な観光・文化遺跡

102kmの海岸線と国指定・国際指定の文化遺跡が1,535以上あることにより、タインホア省は観光開発のポテンシャル及び強みがある。文化的観光・スピリチュアルツーリズム、海の観光(リムソンビーチ、ハイティエンビーチ、ハイホアビーチ)とエコツーリズム(ベンエン国立公園、プールオン自然保護区、スアンリエン自然保護区、カムルオン神魚の小川等)の3つの主な形式により観光業を開発でき、ハノイだけではなくベトナム全土からの観光客を集めている。



プールオン自然保護区



胡朝の城の世界文化遺産



ランキン歴史遺跡



サムソンビーチ



牛肉のフォー(北部の味)



豊富なシーフード

# SSV本社所在地・タインホア省について：Hong Duc大学について



## CORE VALUES

Talent - Innovation - Responsibility - Integration

- 名称 : Hong Duc 大学
- 創立 : 1997年9月24日
- 教授数 : 400人 (190 PhD)
- 大学生数 : 12,000 名
- 学科 : 情報通信工学科、自然科学、医学等  
40学科 (Master 21プログラム)
- Website : <https://www.hdu.edu.vn/>



HongDuc大学との協議



大学入口



キャンパス



COBOL コンソーシアム様ご講演



## ローカル企業との連携

- ✓ 運営の機微を知る現地ローカル企業との合併
- ✓ ローカル企業が持つ品質管理部隊との協業



## 情報系学生

- ✓ 狭き門であるIT業界で就職が出来る
- ✓ 日系企業・金融の仕事は憧れの対象
- ✓ 地元タインホアで働くことができる



## Hong Duc大学

- ✓ 毎年200名程度の情報系学生が卒業するも、IT業界での就職率が課題(現在は20%以下)
- ✓ 学校のブランド向上のため、積極的に優秀人材を推薦することをコミット



## タインホア省

- ✓ 省の知名度向上
- ✓ ICT産業拡大のきっかけ
- ✓ タインホア省からの人材の流出防止

## 開発言語

COBOL、Embedded SQL、JCL、REXX、RPG、PL/1、iSeries CL

## OS

z/OS、iSeries、Linux、Windows、Unix、HP-UX、MacOS、AIX

## 開発環境・コンパイラ

Enterprise COBOL for z/OS、iSeries non-ILE、iSeries ILE、COBOL85、NetCOBOL、COBOL2002、GnuCOBOL

## データベース

DB2 for zOS、DB2 for IBM i、IMS DB、Abadas

## ミドルウェア

CICS、CICS/400、IMS DC、MQ Series、ProductXpress、Pathfinder

## 業種

保険、証券、銀行、物流、通信、郵便局／郵便事業

- COBOLシステムのマイグレーションは進んだ一方で、永続的にCOBOLシステムを残す判断をする会社も増加
- COBOLエンジニアは高齢化が進行、開発現場でのエンジニア不足が顕著に。
- COBOLメーカー撤退によりオープン化が進み、海外対応も現実的に。



メインフレーム上のシステム保守・保守開発人材を育成し、お客様COBOL資産の永続的な保全を目指しています。





## Hong Duc大学での教育

### 大学カリキュラム

(1年～2年生)

- ✓ システム開発とは
- ✓ プログラミング基礎

(3年生)

- ✓ プログラミング実践  
(C#、.Net、Java)

3年生後半～4年生前半

### インターン受入

- ✓ COBOL基礎教育
- ✓ JCL/バッチ

- ✓ TSO
- ✓ CICS・ファイルやり取り

模擬プロジェクト  
日本語教育

選  
抜

## System Sustainability Vietnam での教育

卒  
業

### 正社員受入

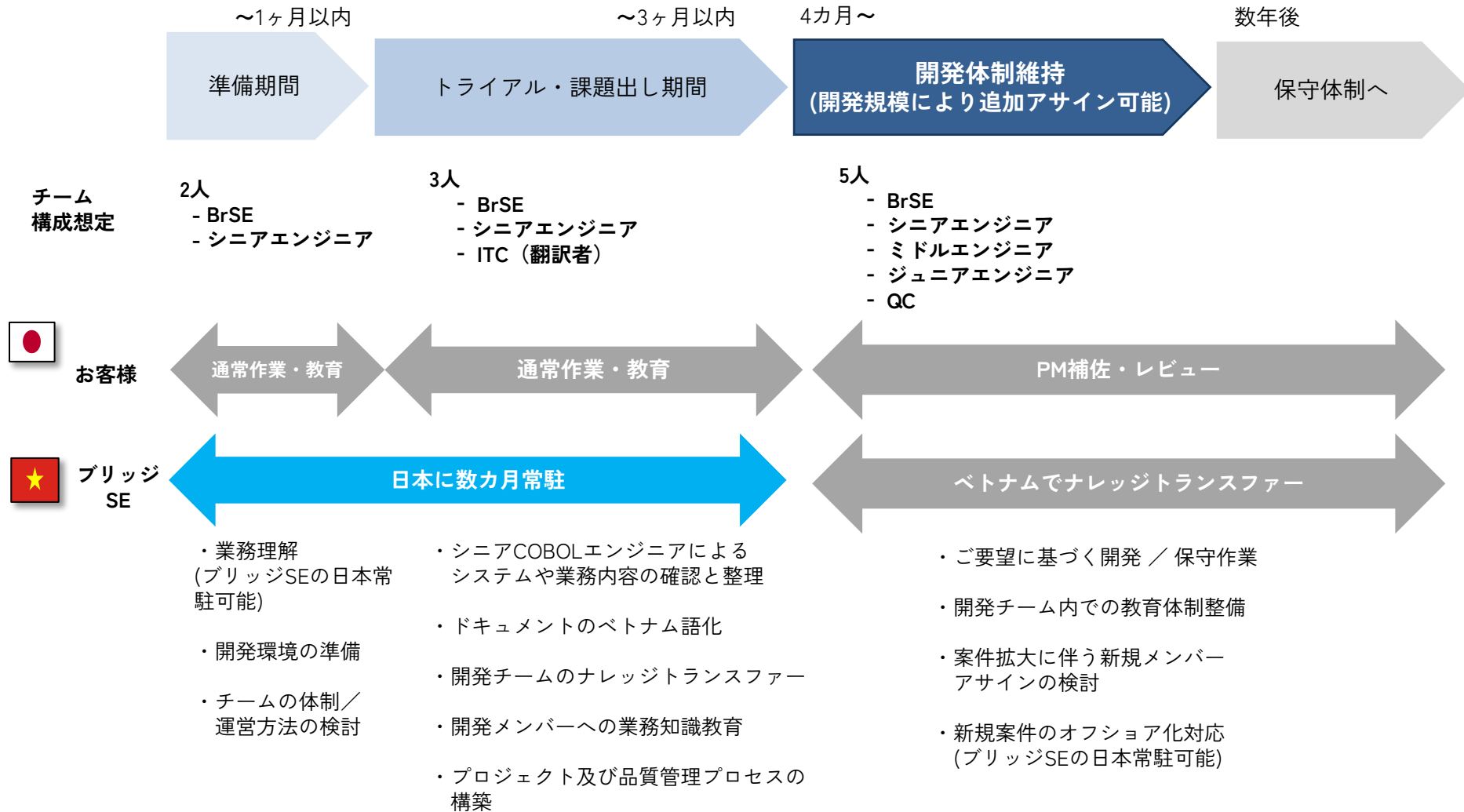
- ✓ プロジェクト個別ト  
レーニング  
(IBM、富士通、OPEN  
COBOL)

- ✓ 金融業務教育  
(保険、証券等)

選  
抜

- ❖ 1. COBOL言語とは
- ❖ 2. COBOL言語の構造
- ❖ 3. COBOL言語でプログラムを作成
- ❖ 4. データの構成について
  - Number, Character, PICTURE, USAGE, REDEFINES, FILLER, COPY など
- ❖ 5. COBOL言語の命令文
  - 5.1 DISPLAY
  - 5.2 MOVE
    - 5.2.1 Move constants
    - 5.2.2 String TO String
    - 5.2.3 Number TO Number(9->9)
    - 5.2.4 String(jp) TO String(jp)
    - 5.2.5 String TO group item
    - 5.2.6 Group item TO String
    - 5.2.7 Group item TO Group item
    - 5.2.8 その他
  - 5.3 INITIALIZE
  - 5.4 DIVIDE
  - 5.5 COMPUTE
  - 5.6 IF
  - 5.7 EVALUATE
  - 5.8 PERFORM
  - 5.9 CALL
  - 5.10 STRING
  - 5.11 その他の命令文
- ❖ 6. ファイル操作
  - 6.1 OPEN FILE
  - 6.2 READ FILE
  - 6.3 WRITE FILE
  - 6.4 CLOSE FILE
- ❖ 7. データベース
  - 7.1 SQLCA
  - 7.2 WORKING-STORAGE
  - 7.3 PROCEDURE (1 Recordの処理)
  - 7.4 PROCEDURE (CURSOR：複数 Recordの処理)
- ❖ 8. ARRAY (OCCURS)
- ❖ 9. その他
  - COBOL言語のコメントと良いコメントの書き方
  - COBOL言語のテストとデバッグモード
- ❖ 9. 実践のプログラミング

# COBOL開発体制構築サービス提供イメージ(5名体制)



※より戦略的な提携案

- 貴社教育担当者のベトナム長期滞在受け入れ
- 貴社人材の当社出向、シニア人材の当社契約社員化

お客様業種 (エンドユーザ)	自治体	生命保険	証券
案件概要	子育て支援金制度の 法改正対応	契約管理システムの 運用・管理	フロント（注文・約定・ 販売チャンネル）の開発 ・保守
オフィス活用目的	社内リソースをCOBOL以外 に割り振るため	リスク分散 (Exit China)	リスク分散 (ベトナム国内の複数拠 点化、ExitChina)
担当作業	詳細設計 コーディング 単体テスト 結合テスト	内部設計 コーディング ITテストケース作成 ITテスト実施 エビデンス作成 本番データ調査	内部設計 コーディング IT a テストケース作成 IT a テスト実施 IT a エビデンス作成
要素技術	Net COBOL JP1 SKYPDF SQL Server	IBM zOS DB2 JCL EASY	IBM zOS DB2 ASM アセンブラ（取組中）

# 補足資料

# オフショアでのCOBOL体制構築について



1995年頃より大手Sierの多くが中国で大人数のCOBOLオフショア体制を構築し、沿岸部都市（大連、上海、広州）などで日本語を学ぶエンジニアが増えCOBOLのオフショア開発が本格化。中国での人件費向上に加え、現在はExit Chinaの動きもあり、新規での取り組みは少ない。



Y2K（2000年問題）をきっかけにCOBOL開発体制の育成が開始。モダナイゼーションなども含めて大手企業（TCS, Infosys, Wipro）が主にアメリカ向けのビジネスを提供。日本語可能なエンジニアが少なく、日本市場では浸透せず。



2013年にCOBOLの専門会社が誕生（COBOL COWBOY）。大手銀行、金融機関、政府などのレガシーシステムの保守開発を手掛ける。平均年齢50歳以上のプロ集団。時給100\$～。



2010年頃より中国を競合視した大手オフショアサービス提供会社が、COBOLエンジニアを育成し、日本でのオンサイトサービスを開始。コスト削減目的というより、日本語力・人材供給量などから、引き続きオフショア開発国としては期待されている。



大手コンサルティングファームが数万人規模でオフショア開発やアウトソース業務を推進。COBOLの開発拠点としても利用中。



2025年12月、上記2社にてCOBOL PARKを設立

SCSKの業界知見+FPTの技術力・グローバル人材基盤によるシナジーを目指す動き

年間5,000億円程度の日本国内レガシー市場において、1,000億円を目指す

※ ベトナム国内でCOBOLに対応していることを謳っているのは、「FPT」「ルビナ」「SSV（IDS）」の3社。 専業はSSVのみ。

数名程度COBOLエンジニアを抱えている会社は複数あり。

## エンジニアスタッフの役割

各職種とも、習熟度に応じたレベル（シニア～インターン）を設定しております  
お客様の案件に合わせて体制のご提案をいたします

### 職種

### 役割

**ブリッジ SE  
(BrSE)**

システムエンジニア兼PMとして、日本語でお客様とコミュニケーションを行います。要件の伝達、進捗管理、品質確認などを行い、プロジェクトの成功に寄与します。

**開発者  
(Dev)**

システムエンジニアとして要件定義に基づきプログラムの設計、コーディング、テスト、デバッグを行い、システムやアプリケーションの開発を担当します。

**品質管理  
(QC)**

開発プロセス全体を通じて製品の品質を確保するためのテストと評価を実施します。バグの検出と修正、品質基準の維持、および改善提案を行います。

**ITコミュニケーター  
(ITC)**

お客様と開発チームの間の円滑なコミュニケーションを確保する専門家です。技術的な要件や仕様をわかりやすく翻訳し、双方の理解を深めます。

各案件ごとのセキュリティポリシーに準じた環境を構築します。

各種セキュリティ監査（現地・リモート）にも対応いたします。

項目	対策
オフィス環境	指紋認証による入退室管理 セキュリティカメラによる録画
業務環境	お客様毎に専用の作業部屋の準備 関係者以外の立ち入り禁止（指紋認証）
PC環境	専用機の設置 持ち去り防止コードの設置 BIOSレベルでのパスワード 操作ログの記録
ネットワーク	お客様環境との専用線/VPN接続 ネットワークログの取得 社内回線との分離
認証	ISMSの取得・運用（計画中）
セキュリティ教育	四半期ごとのセキュリティ教育
リモートワーク	開発者は自宅でのリモートワーク原則禁止 （設計者/PM等は承認制にて自宅でのリモートワークを許可）

# 視察のご案内

## <モデルスケジュール>

日程 (3泊4日)	内容
Day1	羽田 夕方発 ハノイ ノイバイ空港 到着
Day2 AM	オフショア開発会社訪問
PM	政府機関 (JETRO) 訪問 現地展開会社訪問
Day3 AM	タインホアへの移動 (車で3時間程度)
PM	市内視察 HongDuc大学見学 System Sustainability Vietnam 見学 ホーチミンに移動
Day4	IDS Vietnam 訪問 オフショア開発会社 訪問 帰国 (ホーチミン タンソンニャット空港より)

### <お客様ご負担費用概算>

合計：12万円～20万円程度

- ・航空券 8万～12万円程度 (エコノミークラス)
- ・ホテル 0.5万～1.5万円×3泊 程度 (4つ星クラス)
- ・保険 0.3万円程度
- ・現地費用 2～3万円程度 (お土産、その他個人的な飲食費等)

### <お客様ご準備事項>

- ・パスポートの取得
- ・航空券のご予約
- ・ホテルのご予約
- ・海外旅行保険への加入
- ・任意の各種ワクチン接種
- ・お土産やお飲み物など、個人的な物品等購入に必要なお金
- ・携帯用SIMなど

ご視察・トライアルなどお気軽にご相談くださいませ



オープン系言語担当：内田、吉岡  
COBOL言語担当：益



03-5484-7811



[smalabo@ids.co.jp](mailto:smalabo@ids.co.jp)